

福祉サービス第三者評価基準【障害者・児施設版】

評価対象Ⅳ

A-1 利用者の尊重

A-1-(1) 利用者の尊重	第三者評価結果
A-1-(1)-① コミュニケーション手段を確保するための支援や工夫がなされている。	a
A-1-(1)-② 利用者の主体的な活動を尊重している。	a
A-1-(1)-③ 利用者の自力で行う日常生活上の行為に対する見守りと支援の体制が整備されている。	a
A-1-(1)-④ 利用者のエンパワメントの理念にもとづくプログラムがある。	a

評価概要

- ①コミュニケーション能力を高めるためにSST（ソーシャルスキルトレーニング）プログラムを準備し、スムーズに就労移行ができるように支援しています。また、SSTボックスを設置し、利用者の悩みや講座で取り上げて欲しいテーマを気軽に受け付けられる仕組みを作り、その内容をビジネス講座で取り上げています。（例：上手にコミュニケーションをとるにはどうすれば良いか。）作業所には、絵や写真を用いて場所の理解や作業訓練がしやすいように視覚的構造化が図られています。
- ②個別支援計画検討会の中で、本人に気づきをもたせるような支援の仕方を検討し職員間で確認をしています。
利用者の主体性を尊重するために、自治会の会長、副会長は選挙で決め、毎月実施している自治会の司会は利用者が務めています。また、親睦会などの行事についても利用者同士で企画し話し合い、職員は全面的な支援を行わずに側面からサポートするようにしています。
- ③利用者は日常生活においては、ほぼ自立しているため介助が必要な場面は少ないですが、個別支援計画検討会の中で個々の支援内容を検討し決定しています。危険箇所チェックを利用者と一緒に実施したり、危険箇所には絵や写真を用いて注意喚起をしたり、安全に働きやすい環境を作るとともに活動の範囲が広がるように工夫しています。
- ④施設外の社会資源の活用や施設外活動については、職員が簡単な情報提供は行っていますが、利用者がインターネットを活用しバスの時刻を調べたり場所の確認をしたりして、利用者が持つ力を十分に発揮できるような支援をしています。
社会生活力を高めるように基礎学習やビジネスマナー講座、作業訓練等就労に必要なプログラムを幅広く準備し実施しています。

A-2 日常生活支援

A-2-(1) 食事		第三者評価結果
A-2-(1)-①	サービス実施計画に基づいた食事サービスが用意されている。	a
A-2-(1)-②	食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本として美味しく、楽しく食べられるように工夫されている。	a
A-2-(1)-③	喫食環境（食事時間を含む）に配慮している。	a
<p>評価概要</p> <p>①昼食のみ提供されているため、サービス実施計画書への記載はされていません。献立は、栄養士が作成しバランスのとれた食事を提供しています。適宜、アレルギー食や利用者の体調に合わせて粥を提供するなどの配慮をしています。</p> <p>②年2回嗜好調査を実施し、利用者の意見を反映させメニューを作成しています。また、毎月の自治会において、利用者から食事についての意見を聴取するようにしています。</p> <p>③休憩時間1時間の中で、喫食場所や時間を選べるようにしています。</p>		
A-2-(2) 入浴		第三者評価結果
A-2-(2)-①	入浴は、利用者の障害程度や介助方法など個人的事情に配慮している。	該当なし
A-2-(2)-②	入浴は、利用者の希望に沿って行われている。	該当なし
A-2-(2)-③	浴室・脱衣場等の環境は適切である。	該当なし
<p>評価概要</p> <p>入浴設備がないため該当なし。</p>		
A-2-(3) 排泄		第三者評価結果
A-2-(3)-①	排泄介助は快適に行われている。	該当なし
A-2-(3)-②	トイレは清潔で快適である。	a
<p>評価概要</p> <p>①「排泄支援マニュアル」は作成していますが、対象者がいないため該当なし。</p> <p>②清掃訓練も兼ねて毎朝職員と利用者が一緒にトイレの清掃をしているため、清潔に保たれています。清掃チェック表がトイレ内にあり、清掃していることが確認できました。また、温便座であり快適に使用できるように配慮されています。</p>		
A-2-(4) 衣服		第三者評価結果
A-2-(4)-①	利用者の個性や好みを尊重し、衣服の選択について支援している。	該当なし
A-2-(4)-②	衣類の着替え時の支援や汚れに気づいた時の対応は適切である。	該当なし
<p>評価概要</p> <p>①該当なし。</p> <p>②着替えの支援が必要な利用者はいませんが、失禁があった場合などに備え「着替え支援マニュアル」は作成されています。</p>		

A-2-(5) 理容・美容		第三者評価結果
A-2-(5)-①	利用者の個性や好みを尊重し、選択について支援している。	該当なし
A-2-(5)-②	理髪店や美容院の利用について配慮している。	該当なし
評価概要 該当なし		
A-2-(6) 睡眠		第三者評価結果
A-2-(6)-①	安眠できるように配慮している。	該当なし
評価概要 該当なし		
A-2-(7) 健康管理		第三者評価結果
A-2-(7)-①	日常の健康管理は適切である。	a
A-2-(7)-②	必要な時、迅速かつ適切な医療が受けられる。	a
A-2-(7)-③	内服薬・外用薬等の扱いは確実に行われている。	a
<p>評価概要</p> <p>①毎朝、利用者が自らバイタル（血圧・脈拍・体温）をチェックし、健康管理表に記入しています。その後職員が確認をして健康管理をしています。</p> <p>年1回の健康診断を実施する他、インフルエンザ予防接種については、利用者全員に案内し希望者に接種しています。</p> <p>歯磨き指導等口腔衛生については、歯磨き指導のプログラムがあり職員が実施しています。</p> <p>②近くに協力医療機関があります。「健康管理における対応基準マニュアル」に関係機関との連携が示されており、連携体制が構築されています。</p> <p>③現在、服薬が必要な利用者は1名のみです。「服薬支援マニュアル」が作成されており、服薬管理が必要な場合には、利用者より服薬依頼書に薬状を添付し提出され、薬の種類、注意事項等についても把握しています。また、誤薬が発生した場合についても「誤与薬対応マニュアル」が整備され適切に対応できるシステムがあります。</p> <p>「医薬品管理規定」により薬は施錠できる場所に保管してあります。</p>		
A-2-(8) 余暇・レクリエーション		第三者評価結果
A-2-(8)-①	余暇・レクリエーションは、利用者の希望に沿って行われている。	a
<p>評価概要</p> <p>①近隣の高校のボランティア同好会の生徒が、交流を兼ねてウイズフェスタに参加するなど、地域の社会資源を積極的に活用しています。</p> <p>バドミントンに興味を持っている利用者が多く、職員がバドミントンのできる複数の施設の情報を提供すると、利用者自身がインターネット等で調べ出かけていくなど主体性を尊重した支援を行っています。</p>		

障害福祉サービス事業所ウイズ

A-2-(9) 外出、外泊		第三者評価結果
A-2-(9)-①	外出は利用者の希望に応じて行われている。	該当なし
A-2-(9)-②	外泊は利用者の希望に応じるよう配慮されている。	該当なし
<p>評価概要</p> <p>該当なし</p>		
A-2-(10) 持金・預かり金の管理等		第三者評価結果
A-2-(10)-①	預かり金について、適切な管理体制が作られている。	該当なし
A-2-(10)-②	新聞・雑誌の購読やテレビ等は利用者の意志や希望に沿って利用できる。	該当なし
A-2-(10)-③	嗜好品（酒、たばこ等）については、健康上の影響等に留意した上で、利用者の意志や希望が尊重されている。	a
<p>評価概要</p> <p>①②該当なし</p> <p>③自治会において、「お酒とたばこの悪いところ」という内容でそれぞれの害について説明し利用者に情報を提供しています。喫煙場所を各階のテラスと決めており、たばこの絵を用いわかりやすく表示しています。</p>		